

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
広報事業	総務部	秘書広報課	秘書広報班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
第四次実施計画	広報印刷部数	部	19,200	19,200	19,200	19,200	19,300
	ふれあい講座実施回数	回	30	30	30	29	30

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	広報とみさとを編集・発行し、市民に対して行政情報を提供するため、広報紙の目標部数を発行することができた。また、市政情報を対外的に広めるため、定期的に記者会見を開催し、市政情報の提供を充実することができた。ふれあい講座は、より多くの市民に活用されるよう広報紙やホームページなどで周知をし、目標値に達することができた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	今後は、さらに見易く充実した広報紙面の検討や、より効果的な市民への情報伝達媒体を追求するとともに、定期的な記者会見を継続し、対外的に市政情報の提供に努めていく。
	令和元年度	事業効果	効果があった
		判断理由	広報とみさとを編集・発行し、市民に対して行政情報を提供するため、広報紙の目標部数を発行することができた。また、市政情報を対外的に広めるため、定期的に記者会見を開催し、市政情報の提供を充実することができた。ふれあい講座は、より多くの市民に活用されるよう、広報紙やホームページなどで周知をすることができた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	今後は、さらに見易く充実した広報紙面の検討や、より効果的な市民への情報伝達媒体を追求するとともに、定期的な記者会見を継続し、対外的に市政情報の提供に努めていく。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
平和施策事業	総務部	秘書広報課	秘書広報班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
第四次実施計画	平和関連行事の来場者数	人	100	69	100	95	100	
	被爆地への派遣人数	人	6	6	6	4	6	

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代へ語り継ぐ機会として、写真展、映画会、長崎派遣事業、平和作文コンクールを実施したところ、各行事のアンケート回収率は低かったが、戦争の悲惨さ・平和の尊さを次世代に伝えていくことができた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	今後も戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代へ語り継ぐ機会を提供し、平和意識の向上を図る。
	令和元年度	事業効果	効果があった
		判断理由	戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代へ語り継ぐ機会として、長崎派遣事業、原爆写真展、平和映画会、平和を考える作文コンクールを実施し、戦争の悲惨さ・平和の尊さを次世代に伝えていくことができた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	今後も戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代へ語り継ぐ機会を提供し、平和意識の向上を図る。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
広聴事業	総務部	秘書広報課	秘書広報班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
第四次実施計画	ふれあいミーティング参加者数	人	50	3	50	7	—	—
	定例相談実施回数	回	12	12	12	11	12	
	まちかど市長室の実施回数	回	—	—	—	—	1	

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	定例相談会は目標値に達し一定の効果があったが、ふれあいミーティング(年2回開催)が1回中止になったため、実績値は3人であった。しかし、市民と行政との間で一定程度情報共有された。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	より多くの市民と情報共有が出来るよう、実施方法の改善や新たな周知方法の検討に努めていく。
	令和元年度	事業効果	効果があった
		判断理由	定例相談は一定の効果があり、ふれあいミーティングの実績値は7人であった。また、ふれあいミーティングに替わるものとして、新たに「まちかど市長室」を開始した。市民と行政との間で一定程度情報共有された。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	より多くの市民と情報共有が出来るよう、実施方法の改善や新たな周知方法の検討に努めていく。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	